

常磐会短期大学 教授 卜田 真一郎 さん
 いまむらこども園 園長 岡田 美保 さん



人権保育専門講座8では、今年度も専門性を高める研修として、全3回の連続講座を開催しました。第1回は1月10日(当初は8月30日に開催予定でしたが、台風のため延期)に大阪府高槻市のいまむらこども園の園長 岡田美保さんをゲストにお招きし、園での理念や具体的な保育実践についてお話をいただきました。

いまむらこども園は、非常に人権や自然にこだわった保育をされている園です。岡田さんから、園がめざしている子どもの姿や具体的な保育実践を聞いたあとに、参加している先生方の各園のこだわりをグループワークで話し合いました。どの参加者も、それぞれの園・所で、いろいろなこだわりをもって保育をされており、そのこだわりを語り合うことで、自園の保育の良さを見つめ直す機会となりました。

《講演内容より》

そもそも理念ってなんでしょう?なぜ、理念が必要なの?…あなたの園・所の保育理念は?

たとえば…
サンタクロースの理念って何でしょう?



「子どもたちに笑顔を届ける」が理念なのでは?

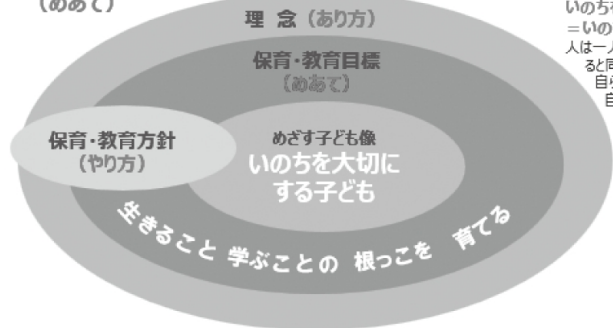
理念がなければ、サンタさんは過酷な深夜宅配便。
 空調のきかないトナカイに乗って寒空を飛ばす。
 煙突の中をプレゼントを汚さないようにコソコソ降りる。
 納期はムチャクチャ厳しい。
 理念がなければ、深夜勤務明け、サンタさんは
 ふてくされて愚痴を言っているかも…。
 理念があるから「あの子は喜んでくれたかな?」
 「あそこに置いたプレゼントに気づいたかな」と振り返る。
 理念があるかないかで、仕事の質とやりがいは大きく違ってくる。

今村学園
**保育・教育の理念・目標
 方針・めざす子ども像の解説と
 関係性のイメージ**

保育・教育目標

生きること学ぶことの根っこを育てる
 生活や活動を通して、子ども一人ひとりが
 愛されているという実感を持つことができ、
 自分を信じる心、人を信じる心、人を愛する心が育つように。

(めあて)



理念(あり方)

将来に渡り、社会の中で子どもがその時々自分らしく幸せに生きることができるよう、愛情をもって目の前の子どもの存在そのものを受け止め、理解しようとする。潜在的に持っている個性を生き生きと引き出しながら、子どもたちが平和や自然環境を守り他の人々や生き物と共によりよく生きるための心や行動を模索できるよう、それぞれの子どものエンパワーする。
 (子ども自身がこうありたい、そうしたいと願うことが出来るよう援助する)

めざす子ども像

いのちを大切に
 する子ども
 =いのち(存在)を大切にされている子ども
 人は一人生きてゆくことが出来ません『私は私』であると同時に『私たちは私』でもある
 自らの命の大切さを実感する経験をする中で
 自分のためだけではなく、全ての命の大切さを
 知り、色々なものを分け合っ
 て共に喜びあう心を持つ人間の萌芽を育てたい

いまむらこども園の保育理念のお話のあと、自然に触れあいながら、子どもたちどうしがダイナミックに育ちあう姿を、保育エピソードを交えてお話をいただきました。

《参加者の声》

●いまむらこども園の「こだわり」はとても興味深く、おもしろく聞かせていただきました。自分のしたいことを見つけ、いきいき遊ぶ子どもたちの姿が目には浮かびました。その環境は自分の園も同じだと。あらためて自園の強みも感じました。これからも子どもたちがのびのび成長できる保育をめざして、ともに楽しみたいと思います。

- 保育について語り合う場があったことで、自分の保育の振り返りができました。「交流」「発信」が楽しかったです。
- 子どもの側に立つこと、子どもが園で見せている姿の背景に気づくことなど、保育者自身が「こだわり」をもって保育をすることが、人権保育の推進につながるとあらためて感じました。